

## ご縁と出会い、 周囲との信頼関係を大切に

有限会社坂口商店 店主

坂口厚子さん

かつては建材屋兼油問屋だったという「有限会社坂口商店」。現在はお酒と自然食品を販売する「坂口酒店」として親しまれている。酒屋には珍しく、5代目当主にあたる厚子さんと4代目を務めたお母様の母娘2人が切り盛りする店だ。お母様から受け継ぎ守るべきものと、自分らしく個性を発揮すべき部分と。厚子さんが考える店づくりとは？

### ■ お客様第一主義で、信用を守り続ける

5代目は、酒類販売を始めた創業時から数えてのことです。私どもは随分と長くこの地で商売をさせていただいていることとなります。(酒類免許が明治28年、会社設立が、昭和27年)。酒屋としては珍しい母と娘の二枚看板となった今もこうして商売を続けていられるのは、お客様のことを第一に考え、お取り引き先との信頼関係を重視した姿勢の賜物と考えています。

### ■ 厳しくも偉大な母の姿に養われたこと

商売人としても、お酒の専門家としても未熟さを自覚している私ですが、「普通の酒屋さん」では考えられないような商品を扱ったり、早くからホームページを開設するなどの新たな取り組みにもチャレンジできたのはやはり、母がいてくれたからだと思っています。母は30代半ばで父が急逝した後、力仕事も立派にこなしたり、周囲との信頼関係を守り続けてきた非常に頼れる存在です。ただ、とっても厳しい人ですから、褒められた経験のない私は自分に自信が持てずに生きてきました。でも、そんな母の姿を間近で見てきたからこそ、周りの方の話をよく聞き、考え、決断する力が養われたのだと、今はとても感謝していますし心から尊敬しています。



### ■ 知識を得て見えた目指すべきもの

私が本格的に店に入ったのは離婚がきっかけでした。信頼する友人に「お酒の勉強を始めてみない？」と誘われ、お酒やお酒を飲まれるお客様のニーズについての知識を得られるようになったことが大きかったのではないかと感じています。ただし、最初から経営者を目指そうと意気込んでいたわけではなく、地道に学びを得ることで、手伝い程度で関わっていた時分には見えなかった世界が見えるようになり、自然とお酒の専門店としてあるべき姿を考えるようになったのだと思います。そこで辿り着いたのが「体に良く、真に美味しいものを提供し、お客様に喜んでもらえる店」であり、そのコンセプトにふさわしい厳選した品を仕入れるよう意識しました。



### ■ お客様に選ばれる個性と魅力を磨こう

ここにしかない出会いや楽しみを提供する店であること。尊敬する母とも同業者とも異なる個性を発揮すること。これが、お客様に喜ばれる店づくりであり、5代目当主としての責務だと思っています。同時に、今後はワインや日本酒業界を盛り上げようと頑張っている県内の若い世代を、私らしく応援してゆきたいと考えています。

挑戦を重ねたからこそ失敗も経験した厚子さん。その都度教訓を得て、基本的にはポジティブに捉えてきたのだとか。「前向きな思考でいると、会いたい人に会えたり、良い品とのご縁に恵まれたりするんです。自然といいスパイラルにはまるのかもしれないね」と、笑った。

坂口厚子(さかぐち・あつこ)

有限会社坂口商店 店主

周囲から“あっちゃん”と呼ばれ、愛される存在。休日の女子会で温泉や美味しいものを堪能するのが楽しみのひとつ。大好きな花に囲まれ、愛猫3匹と暮らす。

